



# 在宅学習でオンライン授業

新型コロナの感染拡大を受け、鶴岡市内の県立高校は30日、生徒の登校を見合わせ、在宅学習とした。試験的に1人に1台端末が導入されている鶴岡中央高（兼子由香校長）では、2年生の一部がビデオ会議機能を使ったオンライン授業に初めて取り組んだ。

「マスクのない表情が新鮮だな」。画面に映る生徒たちに同校の浅野悟教諭（44）が笑いかけた。担当するのは化学の授業。誰もい

**四月三十日、コロナの感染拡大の影響で生徒が在宅学習となり、オンライン授業はじめて取り組んだ。**

新しい教室の教壇にノートパソコンとモニターを並べて授業を進めた。普通科自然科学コースの2年生の約50人に向け、中和反応の計算について説いた。穴埋め問題を画面で共有。教諭の問

市内の感染拡大を背景に県教育委員会から28日在宅学習の要請があった。他校も、外部のオンライン学習サービスを活用するなどして対応した。

（三浦光晴）

## 在宅学習「十分対応できた」

鶴岡中央高 オンライン授業



コロナ拡大で登校ができず、オンラインで授業を行った  
＝鶴岡市・鶴岡中央高

県、グーグルとの連携による実証実験で2年生約240人が2月からノートパソコンを使っており。「ビデオ通話以外は普段の操作と同じ。急ぎよだつたが十分対応できた」と浅野教諭。大勢と一度にやりとりするため、個々の反応が見えにくい点を課題とした。

参考した斎藤圭吾さん

（16）は「課題を解いたらすぐ送信できるのはメリット」と話す。土田大夢さん（16）は「タイピングが苦手だとチャットでの質問が難しい」と振り返った。

